

心ゆたかに たくましく

豊かな感性をもち表現する子どもを育てる。  
自ら考え、生き生きと遊べる環境をつくる。

自分も友達も大切に作る子どもを育てる。  
一人ひとりの発達の特性に応じた総合的な指導を行う。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

- ①今年度努力目標「幼稚園っていいな 友達っていいな ～やりたいことに向かって心と体を十分に働かせながら友達と一緒にドキドキワクワクする遊びの援助を考える～」の達成に向けて、研鑽を積む。行事、週の計画を教師全員で検討し、新任研修及び園内研修を行い、遊びを中心に園児の主体性を大切に保育を探り、援助の在り方や環境構成を検討する。
- ②安全管理体制の確立に向けて、様々な角度から安全管理について考え、安全点検や実情に合った訓練を行う。
- ③子育て支援活動については、3歳児教室や園庭開放、行事開放の回数を増やし充実を図る。また、地域教育協議会や子育て支援関係機関連携会の参加、保護者会の実施など保護者及び地域への園の情報発信を行う。

3. 評価項目の達成及び取組状況

| 評価項目                         | 結果 | 理由   |
|------------------------------|----|--|
| ①努力目標達成に向けて、援助のあり方や環境構成を考える。 | A  | 行事や週の計画において、教師全員で様々な立場から一人ひとりの園児やクラスの様子を話し合い、共通理解するとともに園児と相談して進める保育について試行錯誤しながら取り組んだ。クラスの実態や課題が明らかになり、様々な保育方法、集団づくり、教材研究、環境構成など教師の援助の大切さを理解して、日々の保育の指導に活かす努力をした。<br>上記の取組の結果、保護者アンケートにおいて、「遊びを中心に実体験を大切に教育活動に取り組んでいる。」という項目で【そう思う】【ややそう思う】の回答が合わせて、100%という成果が得られた。 |
| ②安全管理体制の確立。                  | B  | 複数で安全点検を行い、害虫対策等緊急の場合は全員で対応した。不審者侵入時、災害時など様々な状況を想定して、園児の実態に合わせて段階的に訓練を行った。職員全員にエビペン講習を行い、緊急マニュアルを確認した。   |
| ③子育て支援活動の充実。                 | A  | 様々な領域の活動を組み込み、保育内容を充実させたことで、園行事への参加が非常に多く、利用者も増えた。地域の会議に積極的に参加し、保護者会では、年3回スライドを利用し教育目標、方針、内容の発信方法を工夫した。  |

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

| 結果 | 理由  |
|----|---|
| B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・努力目標については、園児はのびのびと安心して自分らしさを出して、やりたいことのために友達と一緒に考えたり工夫したりするなど、主体的な姿が多く見られるようになった。教師が園児の実態をしっかり見ることや見通しを持つ大切さを理解して、努力することで課題も明らかになった。保護者アンケート、行事への自由記述などから保護者に一定の評価を得られているが、課題については今後も真摯に対応していきたい。</li> <li>・安全管理体制については、園児が安全に対する意識や習慣が身に付くように努めているが、二次避難経路については検討していきたい。</li> <li>・子育て支援については、3歳児教室の参加人数が安定し、楽しみに来ている姿が増えた。</li> </ul> |

◎「3. 4. 」の評価結果の表示方法

A: 十分に達成されている B: 達成されている C: 取り組まれているが、成果が十分でない D: 取組が不十分である

5. 今後取り組むべき課題

| 課題         | 具体的な取り組み方法  |
|------------|---|
| 教育課程の編成    | 園児の主体性を大切にする保育の取り組みを継続して3, 4, 5歳児の発達を見通した指導計画を作成し、新幼稚園教育要領に基づき実践する。 |
| 子育て支援活動の充実 | 0～3歳児までの保育を園長代理と子育て支援担当教諭を中心に実施する。                                  |
| 安全管理体制の充実  | 保育時間が長くなることに伴い、より一層の安全管理意識を高めて計画的に取り組む。                             |